

令和4年度第2回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和4年6月29日（水）午後2時～午後4時
- 2 開催場所 中央図書館 2階 視聴覚室
- 3 出席者
（委員）
藤田委員長、鳥居副委員長、石川委員、大塚委員、田中委員、持永委員、
工藤委員、 湊野委員、 室井委員
（事務局）
生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長兼青少年センター所長、
市民スポーツ課長、郷土博物館長、高洲公民館長、中央図書館長、
青少年課長補佐、生涯学習係（3名）
- 4 傍聴人 1人
- 5 議題
 - （1）報告事項
 - 1）令和3年度事業の開催報告について
 - ①令和3年度青少年センター事業報告
 - ②令和3年度郷土博物館事業報告
 - ③令和3年度浦安市立図書館利用統計及び実績について
 - ④令和3年度公民館利用状況
 - ⑤令和3年度第2回浦安市郷土博物館協議会（書面会議）
 - ⑥令和3年度第3回図書館協議会（書面会議）
 - 2）社会教育関係行事案内
 - （2）協議事項
 - 1）「第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画」
に係る施策事業の進捗状況について
 - 2）提言について

(1) 報告事項

1) 令和3年度事業の開催報告について

各課の開催報告については、資料の配付をもって説明とした。委員からの主な意見・質問等は以下のとおり。

①令和3年度青少年センター事業報告

- 委員長 「青少年相談」の相談内容は、例年、「家族関係」が多い傾向にあるが、令和3年度は「精神的不調」が「家族関係」を上回る結果となり、「医療受診を勧めたケースが多くあった」とされている。そこで、どのような方法で医療機関を紹介するのか。
- 事務局 相談内容から、「腹痛」「頭痛」などの体調に関するものは、まずは、通常の診療科の受診を提案するが、本人の希望を聞いた上で、精神的不調に関わる医療機関の受診を勧めた。

②令和3年度郷土博物館事業報告

- 委員長 「令和3年度郷土博物館事業一覧」のNo.4「館外体験」の「観察会」について伺いたい。市の施設で三番瀬環境観察館があるが、今後、どのように連携していくのか。
- 事務局 三番瀬に関わる「観察会」の事業では、「干潟観察会」、「野鳥観察会」があり、三番瀬環境観察館の施設を借りて、郷土博物館の事業として行っている。三番瀬環境観察館は外部委託で運営されていることから、今後は三番瀬環境観察館の担当部署と協議し、事業を進めていきたい。

③令和3年度浦安市立図書館利用統計及び実績について

- 委員長 2.(3)のリクエストサービスについて、リクエストサービスとは、どのようなサービスなのか。また、「令和3年度浦安市図書館利用統計」について説明をしてほしい。
- 事務局 リクエストサービスとは、読みたい資料がすでに貸出されて書架にない場合、所蔵していない場合などに応えるサービスで、カウンターや電話等で予約を受け、予約した資料は、中央図書館、分館、駅前行政サービスセンターで受け取ることができる。また、所蔵していない資料は、県立図書館や近隣等の図書館から取り寄せて、利用者に貸出しをしている。

令和3年度浦安市立図書館利用統計の表の説明であるが、1. 貸出し(1) 個人貸出しの表の「利用者数」とは、貸出しをした延べ人数である。「一般」は、児童書の貸出し以外の資料の貸出し冊数である。AVは、CD、DVD、レコードなどの視聴覚資料である。3. リクエストサービスの「所蔵」は、市内図書館に所蔵している資料にリクエストされた件数である。同表の「未所蔵」は、市内図書館になかった資料にリクエストされた件数であり、内訳の「購入」は、新たに浦安市の図書館で買った資料の冊数、「県立より」というのは、千葉県立図書館から借りた冊数である。同様に、「県内他館」は県内の市町村立図書館、県外は千葉県以外の公立図書館から借りた冊数である。「読書会援助」と「ハンディキャップ」は、一般利用者と別にリクエストとして処理している冊数である。「読書会援助」は、読書会の団体に対してのリクエストサービスである。「ハンディキャップ」は、視覚障がい者、聴覚障がい者がリクエストされたもので、障がいに合わせ、県外の専門図書館から借り、貸出した冊数である。

④令和3年度公民館利用状況 意見・質問等はなし

⑤令和3年度第2回浦安市郷土博物館協議会（書面会議）
意見・質問等はなし

⑥令和3年度第3回浦安市図書館協議会（書面会議）

委員長	令和3年度第3回浦安市図書館協議会議事録の4ページの15「2 子ども読書活動の推進」で、読書通帳だが、学校図書館の記帳もされるのか。
事務局	学校図書館で借りた本についても、記帳できる。読書通帳機は学校には設置されていないので、中央図書館や分館に設置している読書通帳機で記帳することができ、通帳に明記される。
委員長	7ページの10「世代継承への取り組み」で、職員の年齢構成のばらつきだが、図書館だけの状況なのか。
事務局	図書館について言えば、職員は司書で採用されているが、採用のない年もある。現状は40代から50代後半の職員が3割を占めている。司書としての研修以外に、市職員としての研修に取り組んでいる状況である。

2) 社会教育関係行事案内

7月1日から9月30日までの行事案内について、資料の配付をもって説明とした。委員からの主な意見・質問等は以下のとおり。

委員長 資料2-7には掲載がないが、7月1日には「社会人権教育地区別研修会(葛南地区)」が浦安市民プラザWave101で開催される。また、7月14日は「千葉県社会教育連絡協議会 令和4年度代議員会」が千葉県総合教育センターで開催されるので、出席する。

(2) 協議事項

1) 「第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画」に係る施策事業の進捗状況について

事務局より概要を説明。委員からの主な意見・質問等は、以下のとおり。ただし、この会議に出席していない担当課については、後日、書面にて回答するものとする。

① 「第2次浦安市生涯学習推進計画」について

委員 No.9「奉仕員養成研事業」(障がい福祉課)について、2月から、オンラインでの講座となったことで、受講者が確保されたのではないかと推測するが、今後も対面だけでなくオンライン講座を実施する予定があるのか。(※後日、書面にて回答)

No.11「コミュニケーション支援事業意思疎通支援事業」(障がい福祉課)について、令和3年度は、手話通訳者や要約筆記者の派遣依頼数が減少したとあるが、派遣依頼はしていないが、コロナ禍の中で聴覚障がい者がどんなことに困っていたのか、困ったことなどの相談内容について知りたい。(※後日、書面にて回答)

委員 No.99「消費者啓発事業」(消費者生活センター)について、小・中学生を対象に行うことはとても良いことだと思う。今後も活発に行ってほしい。

事務局 消費生活センターから、引き続き、私立も含め市内の小・中学生を対象に実施していくと聞いている。

委員長 No.12「音楽ホール管理運営事業」、No.13「市民プラザ管理

運営事業」、No.14「文化会館管理運営事業」（生涯学習課）について、令和3年度の実績は、どれも利用者が減少しているが、指定管理者への財政的な支援はどうなっているのか。

事務局

施設利用者の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響で主に市外利用者の制限があったことによるものと考えられる。音楽ホール、市民プラザWave101、文化会館は、指定管理者が運営しているが、令和3年度中の施設の使用料収入は市の歳入となり、市から指定管理者へはあらかじめ決まった指定管理料が支払われているため、指定管理者には財政的な影響はない。なお、音楽ホールに関しては、令和4年4月から利用料金制度を導入しており、施設の利用料金の収納先が市から指定管理者に変わったため、令和4年度以降は、施設利用者数などによって収入の影響があると思われる。

委員長

No.15「生涯学習情報紙の発行」、No.16「生涯学習情報提供システム運営事業」（生涯学習課）について、生涯学習情報紙（こども情報紙）については、令和3年度は、WEB配信と紙でのお知らせの両方を行ったとのことだが、市民の活用状況を知りたい。また、生涯学習情報提供システム「まなびネットURAYASU」を利用する際の現状と課題について伺いたい。

事務局

こども情報紙「このゆびとまれ」の夏号では、WEB配信を行うと共に、配信をお知らせするチラシを保育園、幼稚園、小学校、中学校の全児童・生徒に対し約20,000枚を配付したが、この時の「まなびネットURAYASU」へのアクセス数は約2,200件だった。チラシ配付数とアクセス数の差が大きかった理由として、お知らせの内容に興味がなかったなどの要因が考えられるが、効果的な情報提供の方法については、今後検討していく必要がある。また、これにより、「まなびネットURAYASU」の令和3年度のアクセス数の実績値は、令和2年度より増加したが、WEB配信した内容を効果的にお知らせする方法については、課題と考えている。

委員長

No.17「学習情報提供事業」（公民館）について、成果指標が生涯学習情報システムでの講座申込数となっているが、令

和3年度の実績値が141回で、令和6年度までの目標値が160回となっている。目標値が低いと思うが、どう考えているか。

事務局

コロナ禍の影響もあって、生涯学習情報提供システムでの講座申込数が増えていることを考慮すると、今後数値が伸びる可能性があるため、今後、目標値を検討する。

委員長

No.23「学習相談事業」（公民館）について、令和3年度の実績値のデータがないのにも関わらず、進捗状況が「B」評価となっているが、何故か。

事務局

当初は、「全公民館における学習相談件数（件）」を成果指標として設定していたが、窓口等での学習相談内容が多岐にわたり、正確な実績数を把握することが困難であることから、成果指標の設定を削除している。ただし、全体的な相談件数が例年とあまり変わらなかったことから、進捗状況を「B」評価としたものである。今後、成果指標の内容や数値をどうするかについては、検討していきたい。

委員長

No.33「浦安市青少年自立支援未来塾」について、令和4年度以降の方向性として、「見直し継続」とあるが、発展、拡大という理解でよろしいか。

事務局

浦安市青少年自立支援未来塾については、これまでも状況に応じた見直しを行いながら実施してきており、今後も、生徒のアンケート結果や学習支援員からの意見などを踏まえた見直しを行いながら、継続的に実施していきたいと考えている。

委員長

No.40「世界一行きたい科学広場in浦安」（生涯学習課）について、令和3年度は未実施であったが、今後は実施するのか。

事務局

世界一行きたい科学広場in浦安については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2年連続で中止となったが、今後の開催については、会場となる東海大学附属浦安高等学校の意向を踏まえながら、関係者とともに検討していきたいと考えている。

委員長

No.47「生涯学習推進体制の充実」（生涯学習課）について、令和3年度の実績値がゼロである。この項目は、今後新設公民館の設置に代わってしまうのか。

事務局 舞浜地区の公民館の基本計画を策定するための庁内検討委員会の設置については、関係部署同士の連携の具体例として、令和4年度中に実施予定の取組を例示したものである。なお、当該庁内検討委員会では、市民の生涯学習の推進を図るため、公民館の機能や役割などを整理しながら、舞浜地区の公民館への導入機能の検討等を行っていく予定である。

委員長 No.67「青少年健全育成事業」（青少年課）について、令和4年度は千葉県鴨川青少年自然の家での研修を実施予定とあるが、現状を教えてください。

事務局 令和4年度は、8月19日から8月21日までの2泊3日で、参加人数を36名に縮小した上で、実施を予定している。

委員長 No.130「社会教育関係団体活動支援事業」（生涯学習課）について、「まなびねっとURAYASU」への登録団体数は、令和3年度で545団体であり、3年間で4団体の増加である。目標値は、令和6年度まで600団体、令和11年度までに700団体としているが、今後、目標値に対して達成可能なのか。

事務局 「まなびねっとURAYASU」への登録団体は、主に社会教育関係団体の認定団体であり、各認定団体については、現在、認定の更新手続きを行っているところである。コロナ禍の中、団体活動が制限されている状況が続いていたため、今後「まなびねっとURAYASU」への登録団体数が増加していくかは不透明なところがある。団体の活動状況も含め、今後の動向については注視していきたい。

委員長 No.146「地域の人材活用・育成事業」（公民館）について、「事業目的」を見ると、今後の持続可能な生涯学習制度確立のための要となる事業と考えるが、令和3年度の実績値が8と少ない。成果目標に設定されている目標値達成は、可能であろうか。

事務局 令和3年度は、サークル体験講座として8団体の実績であった。コロナ禍以前は、公民館文化祭での団体数を含んでいたため、平成30年度は149団体であった。

委員長 No.157「生涯学習職員研修」（生涯学習課）及びNo.160「公民館職員研修」（公民館）について、共通の質問として、研修の内容等を知りたい。

事務局 国や県主催の研修については、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターが主催する社会教育主事の取得のための研修や、県の「さわやか県民プラザ」が主催する生涯学習や社会教育に関する基礎的な内容の研修などに参加している。これらの研修については、部内で調整を行った上で、可能な限り参加しており、令和3年度は、職員2名が社会教育主事を取得している。部内研修会については、講師謝礼などの予算上の課題などもあり、十分な体制が整っていないのが現状である。

事務局 令和3年度は、専門性を高めるために、社会教育主事の取得のための講習と全国公民館セミナーへそれぞれ1名ずつ参加した。また、内部研修として、公民館に異動してきた職員を対象に、公民館に関する基礎内容の研修を実施した。

委員長 No.180「文化振興事業」（生涯学習課）について、令和3年度は新型コロナウイルスの影響で、「市民ミュージカル」、「市民演奏会」、「うらやす文化市場」が未実施となっているが、今後の展望について知りたい。

事務局 「市民ミュージカル」、「市民演奏会」、「うらやす文化市場」の開催については、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等を見ながら検討していきたいと考えている。

②「浦安市生涯スポーツ推進計画」について

副委員長 いろいろなところで、各スポーツ団体がこの計画中に書かれている事業と同じようなことを行っている。今後、一般社団法人浦安市スポーツ協会と意見交換ができればと思う。共に見直しすることで、市民スポーツ課の業務軽減にも繋がるのではないかと思う

事務局 一般社団法人浦安市スポーツ協会や浦安市軽スポーツ協会、6つのスポーツクラブで構成されている総合型地域クラブなどがあり、各団体は成り立ちは違うものの、スポーツを共通としているので、ご指摘のとおり、今後は意見交換の場を作っていきたい。

2) 提言について

- 委員長 資料2-9「(第2回定例会) 提言書の協議内容について」に記載した提言の目的などの文言の訂正等があったら、指摘をいただきたい。また、提言の根拠となるアンケートの内容についてご意見を伺いたい。
- 委員 3ページの下から6行目に「コロナという災厄を克服した後の“After Corona”時代に向けて」という表現があり、また同じページの1番下の行に「新型コロナウイルスを克服した希望の時代の到来に備え」という表現が出てくるが、「克服する」というのは、今の状況からして、考えにくいという認識でいる。それよりも、社会の変化に対応しながら生涯学習を推進していくにはどうすればいいのか、また、社会教育施設の運用、対応は今までどおりでいいのか、という考え方のほうがよいのではないか。
- 委員長 提言の目的の文言については、検討したい。アンケート内容については、後日、事務局と再度、調整する。次回の会議では、市民活動センター、社会福祉協議会の方をお呼びし、委員のみなさんが所属している団体も含め、令和2年度、令和3年度のコロナ禍の中での活動について、課題などのお話を伺う場としたい。

(3) その他

- 1) 次回の会議日程について事務局より説明
令和4年度第3回定例社会教育委員会議
日時：令和4年9月29日(水)午後2時から
場所：市役所 10階 協働会議室